

江井島中学校区 補導委員会だより

令和元年(2020)年8月7日
江井島中学校区補導委員会
事務局 江井島中学校
TEL 078-918-5885
FAX 078-918-5886

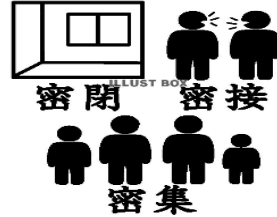
「新型コロナウイルス感染症拡大防止」で、始まった新学年。いまだ「新型コロナウイルス」は収束することなく、全国で新たに新型コロナウイルス感染が確認され、感染者数が増加しています。皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私たち補導委員は、今年度も小学校教師2名・中学校教師4名・地域の方6名の12名で活動いたします。7月までは新型コロナウイルス対策として、補導委員全体での活動は自粛していましたが、個々でのパトロール活動をやっておりました。オレンジのベストが目印ですので、何か気になることがございましたら、お気軽に声をおかけいただき、情報の提供をいただきたいと思います。子どもたちの心の変化を見逃さないため、また、不審者や変質者から子どもたちを守るため、地域、家庭、学校が連携して取り組んでいけますようお願い申し上げます。

学期に一度この紙面を通して、校区内の状況や小中学校内の様子について地域に発信して参ります。是非ご一読ください。

江井島中学校区補導委員は、今年度も全力で活動をしますので、よろしくお祈りいたします。

3密に注意！



小学校より

日頃より、スクールガード江井島小学校区の皆様をはじめ、PTA愛護部の皆様、地域の皆様には、児童の安全にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、緊急事態宣言に基づく休業が明け、2か月が経ちました。子どもたちは、マスクや手洗いなど感染症予防を心がけ、新しいクラスで日々がんばっています。業間休みには、運動場で元気な声が響くようになってきました。子どもたちが元気に過ごす中で、校区の様々なところへ遊び場が広がっています。遊び方について学校で指導を行っておりますが、遊びに熱中するあまり、危険な遊び方になったり、近隣に住む方々のご迷惑になったりしていることもあります。そんな子どもたちの姿を見かけられましたら、ぜひお声がけをいただければと思います。

加えて、自転車の乗り方について地域の方からお声がけをいただくことが増えています。特に、スピードの出しすぎ、複数台で広がるなど、危険な運転が目立っています。他にも自転車を移動の手段ではなく、坂を下りる遊びに用いるなど、いつ事故が起きてもおかしくない状況があります。子どもたちには、「どんな危険が生じるのか」、「自分だけでなく周囲も危険になる行為であること」「これからどんなことに気をつけて乗るのか」など具体的に考えさせ、安全な乗り方ができるよう指導しているところです。自転車の乗り方について、気になる様子がありましたら、学校へご連絡ください。

小学校の約束（放課後の過ごし方より一部抜粋）

- 自転車の危険な乗り方（とびだし、スピードの出しすぎ、二人乗り、2台以上並んで走るなど）はしません。
- 6時までには必ず家に着くように帰りましょう。
- 子どもだけで校区外や大型店舗に行ってははいけません。
- 子どもだけで海・川・ため池・水路など水の事故につながるおそれがある場所には行ってはいけません。

中学校より

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。1学期は新型コロナウイルスの影響で、長期の臨時休校措置が実施されました。3年生は修学旅行が延期され、2年生はトライやる・ウィークが延期され、2学期に縮小での実施予定です。入学したばかりの1年生は、学校生活に慣れる間もなく臨時休校に入ったため、楽しみにしていた授業や行事が全て後回しになってしまいました。このような状況にもかかわらず、本校の教育活動は「新しい生活様式」を意識しながら徐々に平常を取り戻してきています。先日行われた明石市総体の代替大会(種目別大会)では、バレー部が優勝、サッカー部が第3位、男子バスケットボール部が第3位。女子ソフトテニス部が個人優勝、男子ソフトテニス部が個人第3位と最後の大会で3年生が躍動し、見事な成果を収めることができました。

さて、今までで一番短い夏休みが始まります。この夏は感染症対策と熱中症対策をしっかりと、無理をせずに体調には気を付けて生活しなければなりません。また、事故やトラブルに巻き込まれないようにルールを守って規則正しい生活を心がけましょう。江井島中学校区の良いところである「思いやり」と「協力」を大切にして、2学期以降もこの困難をみんなで乗り越えていきましょう。



校区補導委員より

コロナウイルスに翻弄された2020年上半期。日本国中を探しても、コロナの影響を全く受けていない人は一人もいないでしょう。少し落ち着いていた感染者数も7月に入ってから一気に増加に転じ、まだまだ収まる気配はありません。

私たちの生活は以前と大きく変わり、友人と話をするのも「密」にならないよう気を遣いながらということが続いています。子どもたちも春から初夏にかけて約3か月、学校に行くことができなくなり、学校で先生や友だちと会って勉強したりクラブ活動をしたりという、これまでの生活パターンが大きく変貌しました。当たり前だと思っていたことが当たり前でないことに気づかされ、毎日学校に行けることの喜びを感じている子どもも多いのではないのでしょうか。

私は、「今」を精一杯生きることの大切さを改めて実感しています。このコロナ禍で再認識した最大のことは、今日できなかったことを明日できるチャンスがあるとは限らないということです。

子どもたちの健全育成でも同様、今日できることを明日に先延ばしせず、補導委員一同、体当たりで頑張ります。地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

